



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

(代表電話) 03-3964-1141

(予約専用電話) 03-3964-4890

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

第110号 (平成25年7月号)

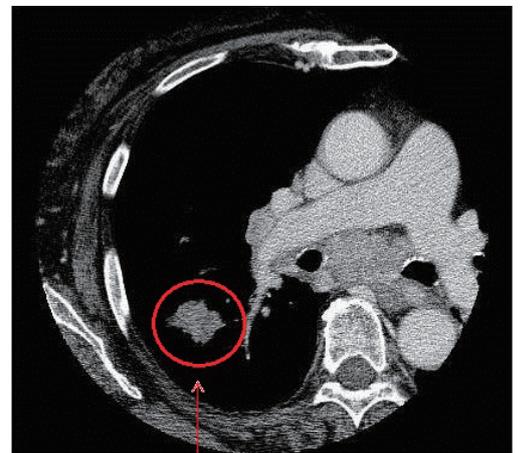
特集

「高齢者の肺がん治療」

呼吸器内科 部長 山本 寛

肺がんは高齢者の病気です

わが国は世界的にみても非常に高齢化が進んだ国になりました。2030年には全人口の31.8%が65歳以上の高齢者になると予測されています。高齢者は何歳以上ですか？というご質問には、立場によって答えが変わると思いますが、肺がんの世界では70歳以上が高齢者と扱われています。実は、日本の場合、肺がん患者さんのほとんどが高齢者なのです。つまり、肺がんの治療やケアを考える場合には、同時に高齢の患者様のケアをどうするか、という視点が必ず必要になります。これまで、わが国のがん治療は、がんそのものをどう治療するか、寿命をどう延長するか、という観点で語られることが多かったのですが、これからは、がんを抱える高齢者がどのように今の生活を維持していくのか、という視点からとらえ直す必要があるでしょう。



肺がんのCT画像

肺がんのタイプにあわせて治療法が変わります

肺がんと一口に言っても、実際には2種類のタイプに分けて考えることになっています。「小細胞肺がん」というタイプと、「非小細胞肺がん」というタイプです。

「小細胞肺がん」は進行が非常に速く、適切な治療がなされなければ週単位で病状が悪化していきます。しかし、その分、抗がん剤治療や放射線治療がよく効きます。「非小細胞肺がん」は比較的進行が緩やかで、病状の悪化も月単位です。しかし、抗がん剤や放射線治療の効果はいま一つで、手術できるようなら手術を優先するというのが

主な記事

- ・ 高齢者の肺がん治療
- ・ 新施設紹介～新しくなった施設内をご紹介します！～
- ・ 患者様からの声

基本です。なかなか症状に表れにくく、発見されたときには手術できないことが多いというのも、このタイプの特徴になっています。

抗がん剤治療は、がん細胞に効果のある薬剤を点滴や内服で投与して、全身のどこかに潜んでいるがん細胞を叩く治療方法です。「小細胞肺がん」に対する抗がん剤治療は寿命の延長につながるという点で最も確実な治療法です。がんを小さくすることで症状を軽くし、あるいは今後の症状の出現時期を大幅に遅らせることができる、という点においても、有効な治療法であるといえます。抗がん剤治療と放射線治療を併用することで、効果を増強することができ、体力のある方には行うこともあります。もし病変が小さく、リンパ節転移もないようなら、定位放射線治療という選択肢も用意されています。「小細胞肺がん」には放射線がよく効きます。病変のあるところだけに放射線が集中的にあたるように工夫して、その病変だけをくり抜くように焼く、そんなイメージです。そしてこの方法だと、がん周囲の正常組織へのダメージを可能な限り小さくすることができるので、抗がん剤治療のような全身への悪影響がほとんどありません。治療期間も通常5日程度で終了します。

「非小細胞肺がん」に対する手術は、その根治性という観点から、病巣を含む肺葉とリンパ節群を切除する治療が一般的に行われています。ご高齢の方の場合、心臓病や糖尿病といった合併症、手術中の大量出血や術後縫合不全、膿胸（胸の中にばい菌が感染する）といった危険もあり、また、長時間の全身麻酔下手術の影響や肺機能低下の影響で術後に肺炎や無気肺を発症しやすく、ときにはこれが命取りになります。出来る限り負担の少ない方法として、胸腔鏡下肺切除術があります。これは、胸壁に数箇所の穴を開け、胸腔鏡というカメラを用いて行う手術であり、傷が小さく目立たないという美容面の利点と、筋・骨組織を切離さないため術後の肺機能低下を防げるという利点があります。順調な場合、翌日には食事開始、数日後には比較的元気に退院できます。リンパ節転移がなければ、病巣を含む肺の一部だけを切除する、胸腔鏡下肺部分切除術を選択することもあり、高齢者では肺葉切除とほぼ同等の生命予後が得られると報告されています。

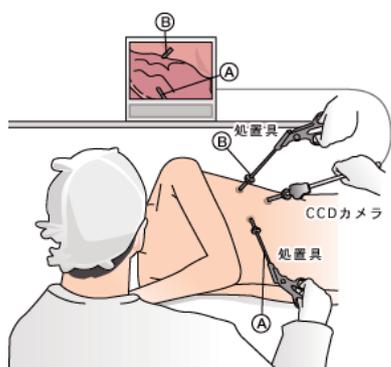
しかし、手術をすることがむしろ望ましくない場合もあります。病気がある程度進展し、手術をしてもすべての病巣を取り切ったことにはならない場合や、体力的に手術ができない場合などがこれにあたります。こうした場合には抗がん剤治療や放射線治療の出番です。最近では、抗がん剤治療の副作用を減らすための工夫もたくさんあり、患者様の御苦痛が少ない治療法を選べる時代になりつつあります。また、がん細胞の遺伝子に特定の異常がある場合に効果を発揮する分子標的薬（ゲフィチニブ、エルロチニブ、クリゾチニブ）が登場し、これらはご高齢の方でも体力を落とすことなく治療を続けられることが多いので、適応になる患者様には比較的早い段階からお勧めしています。ただし、間質性肺炎という重篤な副作用が出現した場合には、1か月以内に命にかかわる事態に至ることもありますので、十分にそのリスクをご理解頂い



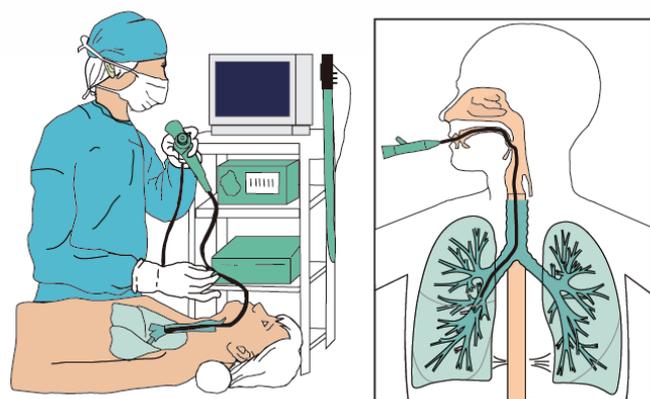
た上で治療をお受け頂くことが必要です。近年では、細かな組織型をきちんと調べておかないと有効な治療方法を選択できない場合もあります。扁平上皮がん以外の「非小細胞肺癌」に対して、ペメトレキセドという抗がん剤やベバシズマブという血管新生阻害薬がこれにあたります。いずれも、「扁平上皮がんではない」ことが事前にわかっている方に対して積極的に用いられています。抗がん剤治療を続けていく体力に不安がある方には、先ほどの定位放射線治療も有力な治療選択肢だと思えます。

治療には診断が必須

肺がんであることがわからなければ、上記のような治療に望むことはできません。これは、「かぜ」の治療などとは異なり、治療によって必ず有害な副作用と闘うことになるからです。薬の使い方についても、上述のとおり遺伝子変異のありなしや組織型によって変わってきてしまいますので、出来る限り正確な診断が必要です。診断のためには、



胸腔鏡検査のようす
引用：エルねっと



気管支鏡検査のようす 引用：エルねっと

①痰を調べる「喀痰細胞診」、②「気管支鏡検査」で気管支の中から病変の組織を採取して調べる、③CT画像を見ながら胸壁の外から針をさして病変の組織を採取して調べる「CTガイド下肺生検」、④「胸腔鏡下肺生検」や肺切除で全身麻酔下に肺組織を採取して調べる、といった検査が必要になります。

がん治療の最終目標をどこにおくのか？

抗がん剤治療を行う目的は、人によっては延命かもしれませんが、人によっては症状の緩和や生活の質の維持かもしれません。がん治療を進めるにあたっては、担当医や患者様を支えるご家族と一緒に、目標をきちんと設定しておくことが大事です。当施設では、単に延命を目的としない肺がん治療を目指した取り組みを行なっていきたいと考えています。手術や抗がん剤治療、放射線治療といった積極的な治療が何らかの理由でできない状況だったとしても、辛い症状にさいなまれないようにすることや、生活の機能維持をはかるための社会資源の活用など、医療と介護福祉の両面からがん患者様のサポートを行うことができます。不安なこと、わからないことがありましたら、なんなりとご相談ください。



★新施設 紹介★

～新しくなった施設内を
ご紹介いたします！～



1～3階

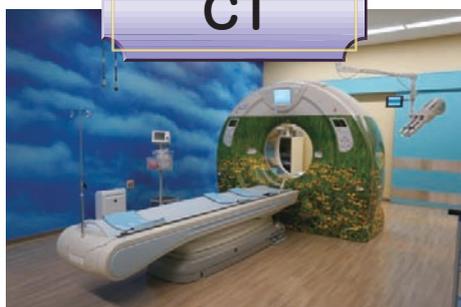


外来



外来は見通しが良くなるよう、スペースを広く使い、また照明も明るくなりました。

CT



PET-CT



MRI



リハビリテーション科



各種最新機器が導入されました。造影剤を使わなくても血管撮像が可能となるなど、検査時の負担が少なくなりました。

4階



血管造影室



5～11階

病室も明るく広々。有料個室も設けました。和の要素を取り入れたデザインとなっています。

4床室



特別室S



12階

がん患者様などを対象に、出来るだけご自宅に近い環境で過ごしていただけるよう、緩和ケア病棟を新設しました。



緩和ケア病棟





患者さまからの声



ご意見

薬について相談できる窓口を設けてほしい。

ご回答

正面玄関を入り、右手後方に「お薬相談コーナー」を設置しております。薬についてご不明な点などございましたら、お気軽に相談いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

ご意見

医療費の支払いが、クレジットカードでできるようになるとありがたい。

ご回答

新施設移転にともない、クレジットカードでの会計が可能となりました。ご利用できるカードの種類は VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club、DISCOVER、UC、SAISON CARD となっております。

ご意見

A T Mは一部の大手銀行のカードが使用できず不便である。入院患者は外出できないため、大手銀行の入出金ができるA T Mに替えていただきたい。

ご回答

新施設移転にともない、全国金融機関（一部を除く）のキャッシュカードが使用可能なA T Mに変更いたしました。2階コンビニ内に設置しておりますので、ご利用ください。

東京都健康長寿医療センターの外来受診

東京都健康長寿医療センターは、主に高齢者の方のために高度で専門的な医療を提供する病院です。

当センターの医療機能である高度専門医療、急性期医療を、一人でも多くの皆様にご利用していただけるように、地域の医療機関と連携し、機能分担を図り、医療の質を向上させるために紹介予約制を原則としております。

◆予約センター

予約専門電話 ▶ 03-3964-4890
または、病院1階の外来予約受付で予約をお取り下さい。
平日 ▶ 9時から17時まで

